

令和6年度 研究の概要

1 研究主題

自ら考え、互いのよさを認め、かかわり合いながら学ぶ子

2 研究主題設定の理由

(1) 今日の課題から

急激に変化する社会の中で、先行き不透明な現代社会に生きる私たち一人ひとりが、答えのない問いにどう立ち向かうかが問われている。そのような中で、学校教育においては、子どもたちが将来をたくましく生き抜く力をつけていくことが求められる。知識だけでは解決できない課題を解決していくために、多様な人々と協働しながら困難に立ち向かう姿勢を育んでいくことが必要である。

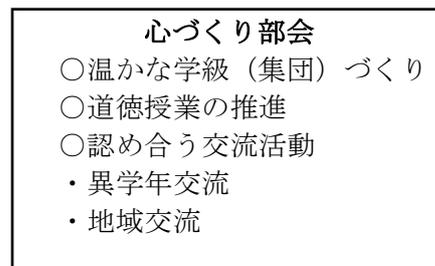
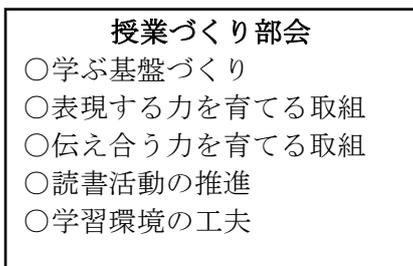
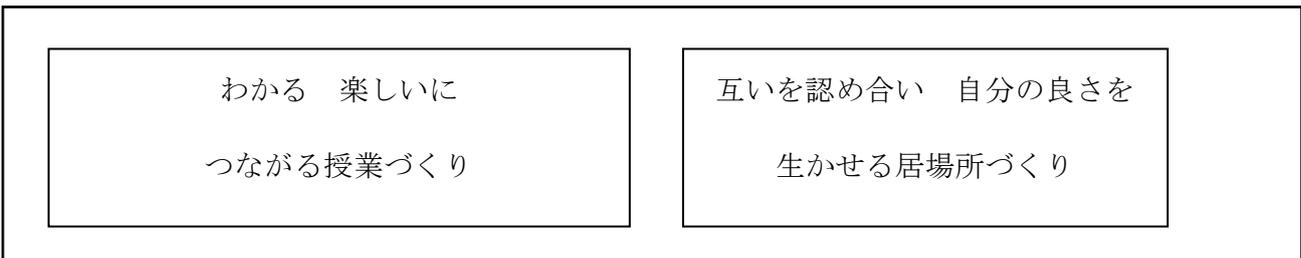
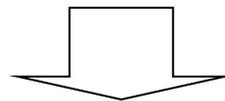
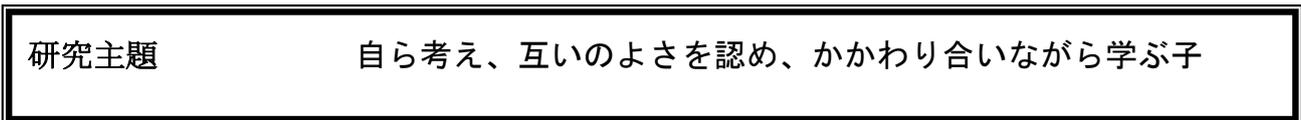
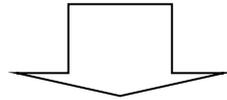
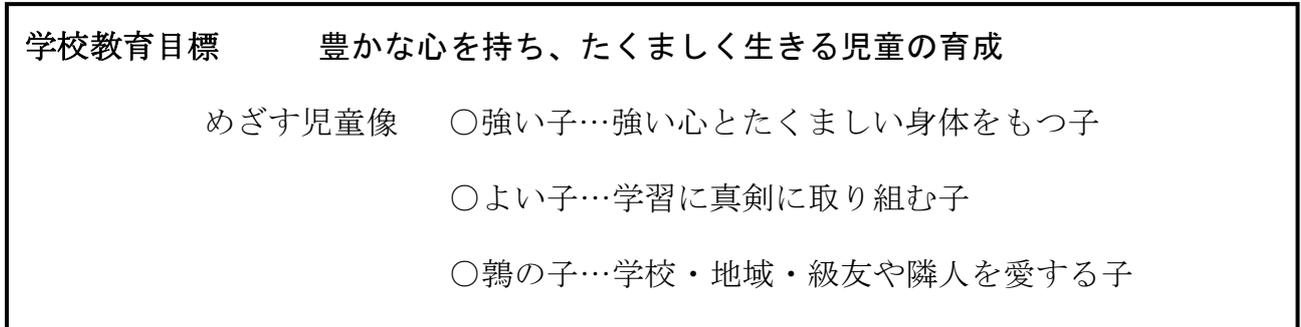
本校では、仲間とかかわり合いながら互いのよさを認め合う中で、自分の思いや考えをもち、より良い問題解決を探っていく子を目指し、研究主題を「自ら考え、互いのよさを認め、かかわり合いながら学ぶ子」と設定した。今後、より一層多様化が進む社会を生き抜いていかなければいけないのが、目の前にいる子どもたちである。多様な立場や考えを尊重し、他者とつながり合い、他者と協働する中で、困難を乗り越え、解決に向かっていく子の育成を目指したい。そのために、子どもの育ちを支える「確かな学び」と「豊かな心」を研究の柱とし、目指す児童像に迫っていきたい。

(2) これまでの研究経過と児童の実態から

本校では、R4年度より、研究副主題に「わかる」につながるICTの活用を掲げ、ICTを効果的に活用することで、児童の学力を向上させることができないかを模索してきた。写真や動画を活用して学習への関心・意欲を高めたり、個々の児童の考えをリアルタイムで学級全体で共有できたり、タブレットに残した画像を用いて学習の足跡を振り返ることができたりするなど、さまざまな学習でICTは効果的であることが分かった。児童もタブレットの操作がより円滑になり、どの学年でも、タブレットを使った活動を無駄なく学習に取り入れることができるようになってきている。児童アンケートでは、「授業がわかる」と答える児童はどの学年でも90パーセントを超え、ICTが児童の学習内容の理解に効果的であることに一定の評価ができる段階まで研究を進めることができた。本年度も、ICTを有効に活用し、学びのツールとして教育活動に活かしていくことは、児童の「わかる」を引き出すために重要であると考えている。しかし、昨年度の全国学力状況調査、SASA2023などで課題となった、「思考力・判断力・表現力」を養うためには、ICTの活用だけではなく、対話活動を伴う他者との協働や、異学年交流が重要であると考えている。そこで、本年度は、他者とのかかわり合いをより一層重視した研究を深めていきたい。

本校児童は、幼少期より生活を共にし、同じ集団の中で進級してきている児童がほとんどである。思いを口にせずとも相手に理解してもらえたり、伝え合う場を持たずして活動を進めたりできる土壌がある。しかし、そのことで、自分の考えをより分かりやすく表現しようとする工夫が見られない、他者の考えに耳を傾け、自己の考えをよりよい考えへと変容させる力が身につけていないなどの課題が見られる。児童一人ひとりの表現しようとする意欲を高め、相手の伝えたいことを端的に捉え、自分の考えと比べて聴く力を育んでいきたいと考え、本研究主題を設定した。

3 全体構想図



4 研究の内容

(1) 授業づくりの視点

- 学ぶ基盤づくり。
 - ・学習ルールの定着。
 - ・基礎基本の定着のためのステップタイムの設定。
 - *火曜日…音読・漢字・短作文など 水曜日…計算練習など
 - ・話す・聞くスキルの定着を図る。
 - ・学習環境を整える。
- 表現する力を育てる取組
 - ・表現するための語彙を豊かにする。
 - *辞書、ことばの宝箱の活用、音読や動作化、短作文での語彙の獲得。
 - ・発達段階に応じた話す力、書く力の育成。
 - *スピーチタイム、日記、振り返りなどの継続。
- 伝え合う力を育てる取組
 - ・多様な考えが生まれる課題の工夫。
 - ・効果的な学習形態の選択。
 - ・伝え合う場の設定。
- 読書活動の推進
 - ・月曜日、木曜日、金曜日の朝活動は読書タイムとする。
 - ・国語の教科書に載っている本20冊を、各学年の必読図書として推奨する。
 - ・移動図書館の利用、図書館訪問など、市立図書館との連携を進める。
 - ・図書支援員、地域ボランティアによる定期的な読み聞かせの実施。
- 学習環境の工夫
 - ・学習の成果や過程がわかる教室掲示。

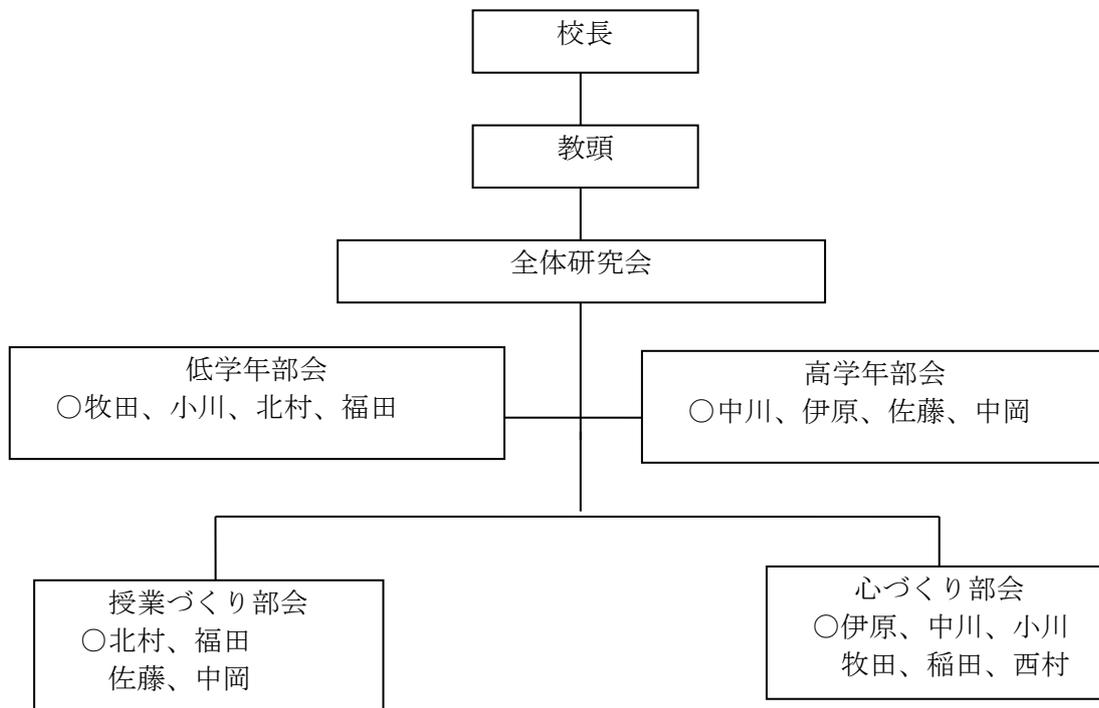
(2) 心づくりの視点

- 温かな学級づくり
 - ・SSTの教育活動の中での計画的な実施。
 - ・エンカウンターでのスクールカウンセラーの積極的な活用。
 - ・SST活動事例集の設置および月一回の事例紹介。
 - ・Q-Uを3学年と5学年に年間1回実施。
 - ・いじめアンケートを月に1回実施。(いじめ防止対策委員会での話し合い)
 - ・児童の情報交換会。(金曜日終礼時)
- 道徳授業の推進
 - ・人権週間など全校である期間に同じテーマで道徳の授業を実施。
- 認め合う交流活動
 - ・1年生を迎える会や体育大会、にこにこ遊び、ありがとう集会などのたてわり活動を計画的に行う。
 - ・縦割り活動や体験活動、校外学習後にふり返り(感想を持つ)を行う。
 - ・異学年交流を積極的に進める。(体育、生活科、総合、音楽などの各教科)
 - ・地域交流を進める。
- キャリア教育
 - ・低学年では、町探検、体験活動(さつまいも植え・わくわく交流デー)、校外学習を通して地域の良さを知り、地域の人とふれ合う。
 - ・中高学年では、キャリア教育プログラムを活用する。
 - なりたい自分に向けて考えを持つ。

5 研究の組織

- ・各部会で授業の検討、めざす児童の実現のための実践・研究を行う。
- ・校長・教頭・教務・各部会の長で研究推進委員会を組織する。

◎各部会の長



6 研究の方法

- (1) 低学年部会、高学年部会で研究に取り組む。
- (2) 一人一実践
研究の視点を意識した実践を行う。実践をA4 1枚程度にまとめ、実践内容や、課題と成果を職員間で共有できるようにする。
- (3) 指導主事訪問
提案授業・一般授業を市内の小中学校、小学校区のこども園に公開する。本年度は前期に提案授業を行う。
- (4) 現職教育
・特別支援に関する研修を行う。

7 年間計画

月	主な研究内容	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・研究推進委員会 ・全体研究会 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の研究の方向性について ・今年度の研究の概要提案 ・提案授業者、教科の決定
5	<ul style="list-style-type: none"> ・全体研究会 ・低・高学年部会 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の研究についての共通理解 ・指導案の書き方について ・指導主事訪問指導案の検討 低学年部会：一般授業 高学年部会：提案授業

6	<ul style="list-style-type: none"> ・全体研究会 <p>6月7日 前期指導主事訪問</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導主事訪問（提案授業・研究会の持ち方）についてのオリエンテーション ・提案授業 佐藤元紀 教諭（6年 体育科）
7	<ul style="list-style-type: none"> ・現職教育 （特別支援教育について） 	
8	<ul style="list-style-type: none"> ・川西中学校区夏季研修会 	
9	<ul style="list-style-type: none"> ・低・高学年部会 	<ul style="list-style-type: none"> ・前期実践の成果と課題
10	<ul style="list-style-type: none"> ・各部研究会 （国語部会・算数部会・学習環境部会） ・低・高学年部会 ・研究推進委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力調査結果分析 ・全国学力調査分析結果の共有 ・指導主事訪問指導案の検討 高学年部会：一般授業 ・指導主事訪問指導案の検討
11	<ul style="list-style-type: none"> ・全体研究会 <p>11月29日 後期指導主事訪問</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導主事訪問（研究会の持ち方）についてのオリエンテーション ・実践事例研究
12	<ul style="list-style-type: none"> ・川西中学校区冬季研修会 	
1	<ul style="list-style-type: none"> ・低・高学年部会 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取組、活動内容の成果と課題について
2	<ul style="list-style-type: none"> ・全体研究会 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の実践の振り返り ・成果と課題
3	<ul style="list-style-type: none"> ・研究推進委員会 ・全体研究会 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究のまとめ ・次年度の研究の方向性について